

医療体制ご意見箱へのご意見

医療提供体制基本構想の推進にあたり、引き続き、市民から広く意見を募集しています。

ご意見募集方法：加賀市ホームページからの投稿、病院・市役所に設置したご意見箱に投函、文書をファックス、メール、郵送、持参等により加賀市医療提供体制検討室へ提出

(平成 23 年 2 月 8 日までいただいたご意見)

	ご意見・ご感想	性別・年齢・地区
1	<p>市長の統合新病院に対する熱意は、新聞や説明会等で感じられますが、まだ大聖寺町民はじめ、一般の人々の中では、良く理解されていないように思います。統合さえも知らない人、借金が増えないの？なぜ地価の高い所でなのと、いろいろ耳にはいります。市長は一月にも説明会を開く予定と報道されていたように思います。疑問に対して丁寧に説明する事はゆうまでもありませんが、私は個人的に市民の代表である市議がこんな大事な問題（山代の二つの総湯問題）の時にも感じた事です。市民の意見を聞くために積極的に動いてない事、我々の代弁者であるから本来、常に市民の側に立ち市民の考え、思いを把握するため、意見交換、交流の場を設けて活動しなければならないと考えております。それが欠けているように思います。だから市民の中には市議員は多すぎる、又いらぬという声さえあります。患者の立場でいえば大聖寺には町医者が全科揃っており、市民病院がなくとも困りはしません。しかし街中が寂しくなり、さびれていくことへの不安があります。山中は診療所として残すらしい。大聖寺は反対するので市長は大聖寺に顔が向いていない。来年三月には決定する。市長は、任期中に決めてしまい東京へいくんだろう。だから急いで決めてしまいたいのだなどとうわさされています。</p> <p>そんな事に思われぬためにも、予算も可決された事ですし、建設決定も目に見えています。ならば住民感情を考え、もう少し議論をつくし先伸ばしする配慮があっても良いのではないのでしょうか。</p> <p>そして市当局としても跡地利用は町づくりでと投げかけるだけでなく、素案づくりのため議員も含め検討会等の設置を提案し、広く意見を求めて議論し、住民感情をやわらげ市民が主役となるよう努力すべきと思います。市長は建設着工後も一番大事な医師確保という仕事が残っております。私は市長の人脈を信じる事にします。</p> <p>そして市長の跡地に対する青写真を少しでも示して下さいれば市民も納得、理解することでしょう。</p> <p>私自身は財源問題、跡地利用問題に強い関心をもっております。今後共、市長の行動に注視して行きたいと思っております。</p>	女性、大聖寺地区

2

加賀市病院統合新病院建設について

平成 23 年 2 月ごろより市立 2 病院を廃止して、新しく 100 億円を投じて加賀温泉駅前の商業中心立地に建設する計画が浮上し、11 月には建設場所の特定と地権者の同意を得て、土地買収の金額を含む具体的契約が結ばれようとしています。

市民病院は明治初期に設立された歴史ある病院であります。山中温泉医療センターは国立の療養所として国のために重要な役割を果たして来たことは間違いありません。

しかし昨今の加賀市の状況をみると、毎年人口減が続き活性度の減少が見られます。

こうした中で病院の効率化を図ることは必要なことです。

二つの病院を一つにして医療スタッフの充実を図ることは重要なことと思います。

しかし二病院を廃止して場所を新しく求めて巨額の投資することは、財政的にも地域の活性化という面においても考慮すべきでないと思います。

加賀市民病院は一部を除いて耐震化の工事も完了して、現状で患者の満足を得る治療機器とスタッフが整っていますし何ら不満もありません。

山中温泉医療センターも近年改良され地域の住民からとても喜ばれています。

加賀市民病院は駐車場が少ないと言われますが、混雑するのは午前中が中心で午後はとても空いています。さらに近隣の錦城小学校と旧幼稚園の空地に立体駐車場の建設も可能です。

山中医療センターは駐車場所が少ないと思われませんが、近隣には空地があるので整備しだいで確保できます。

両病院とも交通アクセスの不便さを言われます、しかし公共機関のバスで来院する人は全来院者の 1 割未満であり、コミュニティーバスの運営を考慮すれば解決できます。

医師とスタッフの不足により救急医療に対処できないと言う問題があります。

それは加賀市だけの問題ではなく大都会ではもっと深刻な問題です。

病院を一カ所にまとめれば救急対処は可能と言われますが、全ての救急患者に対応するのは不可能で、近隣の小松、金沢、福井と連携することは必ず必要と思います。

昨年、東日本大震災に見られるように、これからは加賀市も防災、耐震、医療、教育に多くの予算を必要としなければなりません。わずかの自己資金で百億近くの借金を今の時点ですることに疑問を感じます。現在の二病院の跡地の問題も提示されないで早急に計画を進めることに疑問を感じます。

新病院建設について加賀市民とくに山中温泉地区、大聖寺地区の住民に時間をかけて説明し、納得してもらってからの推進が必要だと思います。

さらに跡地の活用方法と、投資金額が不明な場合は進行すべきではないと思います。

将来の加賀市にとって有益な計画なら住民総意で賛成するものであります。

一番反対者の多い大聖寺は、どうして反対しているのかまだわからない状態です。

個別に聞くと九割以上が反対者です。加賀市民は性格がおっとり遅いので事の重大さが段々とわかってきたのです。

市会議員の皆様が病院問題でどんな行動をとるのか、どなたが利益を得たのかジッと見つめています。市会議員の皆様は自分の支持者に「こんな無駄遣いをす

るのだが」と相談してください、市議員さんの周りだけが賛成なのです！市議員だけが市民意識と浮いていますよ！

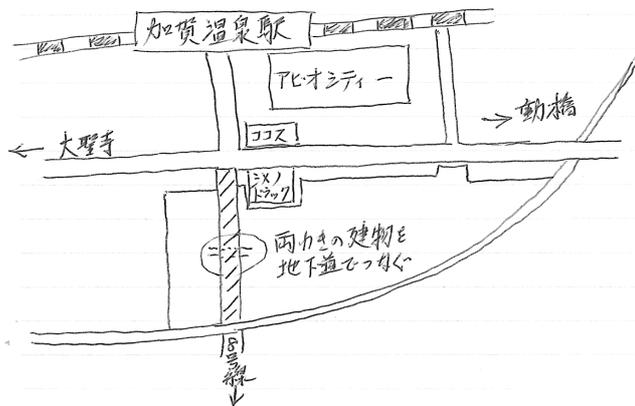
加賀市における新病院建設問題について

ベッド数は 減る
良いお医者さんが来る 誰？（来るわけないって皆知ってるよ!!!）
救急車の受入数は いっしょで変わらない
病院の赤字は 新しくなっても減らない
かかるお金は 100億円
後でかかるお金 解らない
（道路、その他いろいろ） （市は気にしていない）
建物は 新しくなる（中身はいっしょ）
病院の受け入れ態勢（医師、看護師・・・人数変わらず）
加賀市の人口は5年後2万人の減の予測、借金は今の赤字に上乗せ100億円
あ～あ これでも建てねばいけないのか？

3

1、建設候補地での病院建物の建て方について

将来、新幹線駅が加賀市に作るようになったら在来線からの乗り継ぎということを考えますと現加賀温泉駅と平行して新幹線駅を建てるのが妥当だと思いますが、敷地面積が狭すぎるといった問題点があると思います。そうすると現加賀温泉駅と国道8号線との間に新幹線駅を設けなければならないと思います。



在来線と新幹線駅のアクセス道路建設として左図に示す斜線の部分を残して病院を建てる。道路の両わきに建物を建て地下道で両わきの建物をつなぐ建て方をしておいた方が将来的には良いのではないかと思います。

2、看護師養成所及び初期救急医療センターについて

看護師をめざす生徒さんたちは都会へのあこがれを持っておられると思います。いつの時代も同じで我々の世代も同じでした。

どうしたら加賀市内の医療機関に就職してくれるのか、就職率をアップさせるには私は、方策として奨学金制度を設けてはどうかと思います。養成所を卒業後は加賀市内の医療機関にお礼ほうこうとして最短5年間勤務するということを条件に奨学金を出すという方法はいかがでしょうか。

そうすれば5年間も勤務すれば都会へのあこがれも単なるあこがれで終わってしまうのではないのでしょうか。養成所では病院の先生が講師を務めておられるそうで、養成所と新病院が離れていたのでは先生の移動が大変だと思います。また、先生に負担をかけてしまうと思います。

この際、養成所と初期救急センター共々新病院建設といっしょにやる時にいっぺんにやってしまった方がよいと思います。

3、CS（顧客満足）、ES（従業員満足）の向上

男性
西谷地区

	<p>CS、ESの向上をはかることが病院発展の向上につながるのだと思います。 埼玉県川越市にあります川越胃腸病院も参考されてはどうでしょうか。 乱筆、乱文で失礼いたしました。</p>	
4	<p>赤字財政に何故莫大な税金を投入してまで何故新地に医療機関を作るのか疑問・・・ 何か利権でも絡んでいるのか？</p>	